

■米国：EPRI が自動デマンドレスポンスのソフトウェアを開発

米国の電気事業における研究・開発機関である EPRI (Electric Power Research Institute) は 2015 年 1 月 21 日、家電などの機器を電力価格や天候、需給状況に応じて自動的に制御できる自動デマンドレスポンス (ADR : Automated Demand Response) ソフトウェアを開発したと発表した。ADR により系統運用者はデマンドレスポンスの運用コストを抑えられると同時に、需給調整用の手段としての信頼性を高められるという。本ソフトウェアは、ADR の普及を目指す事業者団体である Open ADR アライアンスによる基準 (Open ADR Standard) に準拠しており、開発には米国の主要電気事業者や系統運用者 (ISO)、東京電力などが協力している。